

活動報告

“富士山エコレンジャー”

| 項目 | 現在の状況 | よりよくするための方法 | 対応 |
|----------|---|---|--|
| 登山道等について | <ul style="list-style-type: none"> ・登山道とブルドーザー道との区別がはっきりしない箇所がある。 ・ハイキングコース（遊歩道）の標識の破損、道の荒廃が見られる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・登山者が入り込み危険なため、判別しにくい箇所は登山道側の管理をはっきりとする。 ・来訪者の安全のために、開山までに整備が必要。 | <ul style="list-style-type: none"> ★静岡県土木部 <ul style="list-style-type: none"> ・登山道のロープ等の整備 ・荷上げ業者との調整 ・スカイラインのゴミ対策 ★荷上げ業者 <ul style="list-style-type: none"> ・ブルドーザー道使用マナーの徹底 ・山小屋業者との連携を依頼 |
| 動植物について | <ul style="list-style-type: none"> ・フジアザミ等植物の盗掘が見られる。 ・キノコ狩りにより、植生が痛められ、ゴミも増加している。 ・写真撮影時に道を外れてしまうことがある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・動植物やマナーについてのマナー啓発看板の設置 ・富士山の動植物について周知する。 | <ul style="list-style-type: none"> ★富士山自然休養林保護管理協議会 <ul style="list-style-type: none"> ・事務局にハイキングコース（遊歩道）の点検を依頼 ★各登山口等への英語も併記された富士山マナー啓発看板の設置 （ふじさんネットワーク事業） |
| ゴミについて | <ul style="list-style-type: none"> ・登山道沿いはゴミが少ないが、五合目及びスカイラインに存在する駐車場にゴミが多い。 | <ul style="list-style-type: none"> ・登下山中に収集したゴミを処理するシステムが必要。 ・登山口だけではなく、そこに行くまでの間にもPRが必要 | <ul style="list-style-type: none"> ★各登山口関係者により、収集されたゴミの処理システムの検討 ★環境省・森林管理署へ富士山エコレンジャーの意見、要望を伝達 |
| 外国人への対応 | <ul style="list-style-type: none"> ・外国からの来訪者も増えており、マナー啓発が必要と思われる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・外国人に対応した看板・パンフレットの作成。 | |

※富士山エコレンジャー活動報告書及び意見交換会で出された意見から代表的なものを取りまとめました。御協力ありがとうございました。

富士山に生きる植物図鑑③

※点線で切り取ると、写真と解説を表裏に見ることができます。

フジアザミ(キク科)

8月～10月に6～8cmの紅紫色の花をつける。頭花は日本で自生するアザミの中では最大で、ふちに棘があり下向きに咲く。高さは80cm程度で、富士山の砂礫地ではよく目立つ。

イワツメクサ(ナデシコ科)

7月～8月に直径約2cm幅約2cmの白色の花をつけ、先端は鋭くとがる。多年草で高さ10～20cm程度で1～8個の花をつける。漢字で岩爪草と書き、岩の間に生えるツメクサの意味を持つ。

ミヤマオトコヨモギ(キク科)

7月～8月に薄い黄色の小さな花をつける。高さは約30cm程度で、太くて丈夫な根を持ち、有花茎と無花茎とが分かれ出る。平地に咲くオトコヨモギよりも背は低く、花は大きい。

ツチアケビ(ラン科)

6月～7月に約2cmの薄い茶色の花をつける。バナナ状の実をつけるが、形がアケビに似ていて、土中から直接生えているため付けられました。葉緑素を持たず、果実は乾燥させて漢方薬にも用いられる。

テンニンソウ(シソ科)

9月～10月に薄い黄色の花をつけ、高さは約1m程度になる多年草。葉は対生し、長さは10cm程度となる。富士山周辺で多く群生している様子を見ることができる。

ミヤマアキノキリンソウ(キク科)

7月～9月に黄色く直径1cm程度の花をつける多年草。高さは約30cmで頭花は散房状に多数集まってつく。日本以外にも東北アジアまで分布し、別名はコガネギク。

参考：山溪カラー名鑑『日本の野草』山と溪谷社 発行
山溪フィールドボックス⑦『高山植物』山と溪谷社 発行

富士山3776自然林復元下刈大作戦 参加者募集! (静岡県より)

富士山周辺の国有林では、台風で多くの樹木が倒れた後、多くの方々の御協力により植樹活動が実施されました。

植樹された苗木を元気に成長させるためには、苗木の周りに生えた草を刈り、日光や栄養を与える必要があります。

静岡県では、この下刈大作戦へ御協力いただける企業や団体を募集しています。

実際の作業は7月以降になりますが、興味をお持ちの企業・団体の方は、ぜひ御連絡下さい。なお、個人参加の募集は改めてお知らせ致します。



1年間の活動総括 事務局長 石間 誠 (静岡県自然保護室長)

～継続は力なり～

酷暑、台風、豪雨、中越地震、豪雪等があり、平成16年度の日本列島は「災」という字で塗り固められましたが、富士山は天候にも恵まれたため多くの方が訪れました。

富士山が未永く多くの人に利用されていくには富士山エコレンジャー活動や自然植生復元活動等にみられるような地道な環境保全活動が必要であります。このため、ふじさんネットワークではこのような活動の情報発信等を行い会員相互の連携を高めているところです。

環境保全活動は地味なものであり時には多くの困難を伴うものですが、道に迷ったら原点に戻ることを基本姿勢として会員相互の連携により活動の継続をしていきましょう。